第7節 公害苦情

生活が多様化するにつれて、公害苦情の原因、態様はまさに多種多様です。 その上で、諸問題に対する措置及び対策を講じるとともに、これからは、都 市化の進展に伴い、ヒートアイランド現象、光害など、都市化が進んだがゆえ に周辺環境へ悪影響を与えたり、エネルギーの浪費につ

ながったりするような問題も発生すると予想されるため、 そのような状況を考慮した上での行動が不可欠です。

快適な生活をおくるためにも、企業や、事業主だけの問題ではなく、一人ひとりが常に問題意識を持つことが大切です。



1 東広島市の公害苦情の現状

公害に関する苦情、陳情は、私たちが日常生活している生活環境と密接に関係しており、 市内における公害の状況を直接的に表わすもので、快適な生活環境を目指す環境行政を進 める上での重要な要素となっています。

■公害の種別・用途地域別苦情件数

(平成 25 年度)

種類			住居区域	近隣商業 地域	商業地域	準工業 地域	工業地域	工業専用 地域	市街化 調整区域 等	合 計
典型7公害	大気汚染		0	1	0	0	0	0	55	56
	水質汚濁		3	3	0	0	0	1	16	23
	土壌汚	染	0	0	0	0	0	0	0	0
	騒	音	5	2	0	1	1	0	9	18
	 振	動	0	0	0	0	1	0	0	1
	地盤沈	下	0	0	0	0	0	0	0	0
	悪	臭	1	0	0	1	1	0	8	11
	小	計	9	6	0	2	3	1	88	109
典型7公害以外	不法投	棄	0	0	0	0	0	0	273	273
	 害	虫	0	0	0	0	0	0	0	0
	その	他	1	0	0	0	0	0	1	2
	小	計	1	0	0	0	0	0	274	275
合		計	10	6	0	2	3	1	362	384

(注)「大気汚染」の中には、野焼きによる苦情件数(市街化調整区域等54件)も含んでいます。

■発生源別苦情件数

(平成 25 年度)

	(平成 25 年度)			
件数	百分率(%)			
13	3. 4			
0	0.0			
10	2.6			
8	2.1			
0	0.0			
0	0.0			
0	0.0			
5	1.3			
0	0.0			
0	0.0			
2	0.5			
3	0.8			
0	0.0			
1	0.3			
1	0.3			
0	0.0			
341	88.8			
384	100			
	13 0 10 8 0 0 0 5 0 0 2 3 0 1 1 0 341			

(注)百分率については、端数処理の関係で、合計が100%にならない場合があります。